

つなげよう つながろう
ふたばのわ

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるためのコミュニティ紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。



双葉ダルマ

FUTABA DARUMA

双葉町観光協会で作成した巨大双葉ダルマ。来年のダルマ市でダルマ引き合戦復活予定です！



- ▶ ふたばのわを広げよう!～小さなきっかけあふれる笑顔(P2～3)
- ▶ ふたばのイトコ再発見!～山田のじゃんがら念仏踊り(P4～5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ 町からのお知らせ(P7) ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

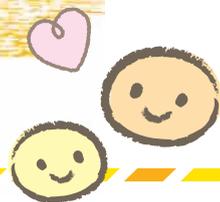
■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>

広げよう！ 小さなきっかけ あふれる笑顔



せんだん広場民謡愛好会は、震災前、双葉町公民館で民謡同好会として活動していたメンバーを中心に、2013年5月に活動をスタートしました。メンバーのほとんどが民謡初心者。近隣に住む大熊町や浪江町の方も参加しています。

「民謡愛好会を始める前は、先のない生活が続き、みんな下を向いてしゅんとしていました。集まってお茶を飲むだけでなく、何かできないかと考えた時、声を出すことみんな元気になりました。手取り早いのは歌だとひらめきました。まずは少人数で始めたところ、一人、二人とメンバーが増えてい

せんだん広場 民謡愛好会



きました」
 そう話すのは、現在民謡愛好会の講師を務める伊藤美枝子さん（新山）。この道40年以上のベテランです。

現在、みなさんのレパートリーは「相馬壁塗り甚句」や「会津磐梯山」、「大漁唄い込み」など約10曲。歌だけでなく踊りもマスターしています。発表の際の衣装や小道具は、みなさんで相談し、協力し合って準備します。

8月9日には郡山市内の福祉施設を慰問し、歌や踊りを披露しました。当日は踊りの先生をしていたという90歳の女性入所者の方が、民謡と一緒に歌



い踊りを披露してくれたそうです。

民謡愛好会のメンバーからはこんな声がかかります。

「他の人が知らない言葉の意味を知ることができた」

「お腹から声を出して歌うので、体の調子が良くなった」

歌っている人も聴いている人も元気にしてしまつ民謡。古くから生活の中で歌われてきた民謡には人々を元気にする力があるようです。

今後の民謡愛好会について伊藤さんはこう話します。

「みんなと一緒に大声で歌うことで、自分に自信がついて人前に出ることも尻込みしなくなります。一人でもやりたいという人がいる限り、民謡愛好会を続けていきたいです」

せんだん広場民謡教室

【日時】毎月2回13時30分～15時
 ※詳細はせんだん広場カレンダーをご覧ください。か、せんだん広場へお問い合わせ下さい。
 【場所】双葉町コミュニティ施設
 せんだん広場
 住所：郡山市御前南2丁目73
 電話・FAX 024-952-5625



※高田秀文さんから写真を提供していただきました。



ふたばのわを

さくら応急 仮設住宅 手芸教室



福島市のさくら応急仮設住宅集会所では、月2回、手芸教室が行われています。

講師を務めるのは大内ちづ子さん（長塚一）。

集会所には大内さんの元気な声と、生徒のみなさんのにぎやかな笑い声が広がり、表情も明るく和やかです。

手芸教室が始まったのは2012年7月。大内さんがさくら応急仮設住宅敷地内で友人と立ち話をしていたと

き、偶然通りかかった女性に話しかけたことがきっかけでした。女性の手には編みかけのベスト。話を聞くと編み方が分からず困っているようでした。他にも仮設住宅に手芸を教えてほしいという人がいることを知り、集会所を借りて手芸教室を開催することになりました。

「教室を始めた頃は何十年かぶりに針を持った人ばかり。それでも、みなさん覚えが早いので、4年目となった

今はここにいるみんなが先生」と大内さんは話します。

今年3月には、仮設住宅を退去する方が増えたことや教えられるものがないようになってしまったこともあり、大内さんは手芸教室をやめることも考えました。しかし、仮設住宅を退去された方からまだ続けてほしいという声や新たに手芸教室に参加したいという声がある事を知り、続けることを決めました。

これまで作ってきた作品は集会所に並びきれないほど。年に数回は手芸教室のメンバーでお食事をしたり、サクランボ狩りなど、みなさんで出掛けたりすることもあります。

「好きでやっているものだから仕上がった時の喜びもひとしお」

「ただ家にいるだけではつまらない。気が知れた仲間が集まっておしゃべりしながら手を動かすのは楽しい」

生徒のみなさんの言葉からは手芸をすることでそれ以上の楽しみを味わっていることが感じられます。

現在は10月に行われる町民作品展覧会に向けて、ハワイアンキルトの手提げ作りに挑戦しています。楽しみながらも町民作品展覧会に向けて意気込んでいるみなさん。手提げの完成が楽しみです。

さくら応急仮設住宅手芸教室

【日時】毎月第1、3水曜日10時～12時

【場所】さくら応急仮設住宅集会所 住所：福島市さくら1丁目10-1



今月号では町民講師によって開催されている趣味の教室をご紹介します。講師を務めているお二人は小さなきっかけから、自分の趣味を活かした交流の場を作っています。そこから人とのつながりができ、さらに「わ」が広がります。たくさんの人とひとつのことを一緒に楽しむことで、趣味を楽しむ以上の良い効果が生まれているようです。

みなさんも一歩踏み出してその「わ」に加わってみてはいかがでしょうか。



ふたばのイトコ再発見!

山田のじゃんがら念仏踊り

7月から8月にかけて、双葉町民の避難先各地で盆踊りが開催されました。

ご先祖様を想い、故人の供養のために行われる盆踊り。

双葉町ではお盆の時期に行われる踊りがもうひとつあります。

それが「じゃんがら念仏踊り」です。

双葉町ではお盆の時期に山田地区と石熊地区でじゃんがら念仏踊りが奉納されていました。

双葉町のじゃんがら念仏踊りは、江戸時代の終わり頃にいわき地方より伝承されたと考えられており、じゃんがら伝承の北限と言われています。

山田芸能保存会のみなさんによって継承されているのが「山田のじゃんがら念仏踊り」です。いわき地方のじゃんがらと比較して、テンポが速いことと謡が早いことが特徴で、初期のじゃんがらの形態を残していることさ

故人を想い踊る



古くから受け継がれている鉦

れています。踊りは「十三仏」と「念仏踊り」の2種類。楽器は太鼓と鉦を使います。

毎年、お盆の時期に山田地区の八幡神社や盆踊りでの奉納のほか、地区の新盆を迎えた家々をまわり故人の供養を行っていました。新盆の家ではまず、仏様に手を合わせた後、盆棚の前と前庭で計2回踊ります。

伝統をつなぐために

震災後、保存会のメンバーは福島県や埼玉県、山形県など各地に離れ離れになって生活しています。

震災後は、2012年の福島県白河市のイベントで披露

したことをきっかけに、

伝統芸能大会などへ多数出

演。県内外各地で精力的に活動を行っています。ご先祖様の供養と共に、

双葉の方だけでなく震災や津波で亡くなった人への鎮魂の思いを込めてじゃんがらを踊っています。

これまでメンバーは青年会が中心でしたが、活動を続ける中で、山田地区の女性や会員のお孫さんがメン

バーに加わり、少しずつ継承の形が見え始めています。

山田芸能保存会の活動について保存会会長の菊地安さんはこう話します。

「震災後、仏様の前で踊ることはないけれど、各地でじゃんがらを披露し、新聞に大きく山田のじゃんがらが取り上げられたことがあります。その新聞記事を仏壇にお供えたことで仏様はきっと喜んでいてくれると思います。」

発表の度に各地から久しぶりにメンバーが集まり、おしゃべりするのが楽しみ。これからも声がかかれば、可能な限りじゃんがらを披露し、それを見てやってみたいという双葉の子どもが一人でも増えたら本当にありがたいです」





▲ ※菊地浩美さんから写真を提供をしていただきました。

地域の絆を強める伝統

これまで様々な出来事がありながらも、その形を江戸時代からほとんど変えることなく受け継がれてきた「山田のじゃんがら念仏踊り」。じゃんがらで使用している鉦は代々受け継がれてきたもの。太鼓も大正時代から使っているものです。さらに最近になって、昭和18年に撮影されたじゃんがら念仏踊りのメンバーの写真が見られ、使われている品や記録写真が

山田のじゃんがら念仏踊りが披露されます！ 第6回伝統芸能フォーラムinいわき -じゃんがらの広がり-

- ◆日時 2015年10月4日(日) 15:00
- ◆会場 いわき芸術文化交流館アリオス 小劇場
(住所: 福島県いわき市平字三崎1-6)
- ◆販売・申込み 入場無料(要整理券)

詳しくは いわき芸術文化交流館アリオス 電話:0246-22-8111 まで

らもその歴史の深さを感じさせます。太鼓を中心に輪をなして踊る姿と空に響く太鼓と鉦の音は、たくさんの方に希望を与えるものでもあります。また、地域の伝統を守り継承していくことで、地域の絆がより強まっています。

双葉町に残るこの歴史深い芸能が、これから先もずっと継承されていくことを願っています。



「集まれふたばっ子2015」で子どもたちがじゃんがらに挑戦(2015年8月)



「ふるさとの祭り」へ出演(2014年10月)



双葉町埼玉自治会盆踊りで
じゃんがらを奉納(2015年8月)

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



7月18日
夏休みふれあい工作
(加須市)



7月23日
ふたば音頭練習会
(加須市)



7月24日～26日
双葉町駅伝チーム合宿
(北塩原村)



7月24日
県北ふたば会納涼祭
(福島市)



8月14日
県南双樹会盆踊り
(白河市)



8月3日
双葉町社会福祉協議会健康サロン
(会津若松市)



8月15日
双葉町つくば自治会盆踊り
(つくば市)



8月15日
夢ふたば人盆踊り大会
(いわき市)



8月16日
郭内応急仮設住宅自治会夏祭り
(白河市)



8月19日
第5回男遊クラブ
(白河市)



8月22日
県中地区自治会盆踊り
(郡山市)



8月29日
双葉町埼玉自治会盆踊り
(加須市)

町からのお知らせ

行事

平成27年度 ひきこもり家族教室～ひとりで悩んでいませんか～

要予約・
相談無料

福島県相双保健福祉事務所では、ひきこもりで悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催します。

家族教室では、ひきこもり本人の行動や気持ちを理解したり、悩んでいるのは自分だけではないことを知るきっかけとなります。どうぞこの機会にご参加ください。

◆日時・内容

	年月日	内容	場所
1	平成27年9月30日(水) 13:30～15:00 ※公開講座はどなたでも参加可能です。 事前にお申し込みください。	<ul style="list-style-type: none"> ■公開講座「ひきこもりとは」 講師:NPO法人 みんなのとなり組 精神科医 堀 有伸氏 ■ひきこもり支援センター活動紹介 講師:福島県ひきこもり支援センター 主任ひきこもり支援コーディネーター 七海 良郎氏 	相双保健福祉事務所 [2階大会議室]
	15:10～16:00 ※相談会はご家族のみ参加可能です。 事前にお申し込みください。	■相談会	
2	平成27年10月28日(水) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■講話「家族のメンタルヘルスと、家族にできること」 ■家族交流 	相双保健福祉事務所 [1階第4相談室]
3	平成27年11月27日(金) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■講話「当事者からのメッセージ」 ■ビーンズふくしま活動紹介 ■家族交流 	
4	平成28年1月8日(金) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■講話「本人との接し方のポイント」 ■家族交流 	
5	平成28年3月9日(水) 13:30～15:30	<ul style="list-style-type: none"> ■教室全体の振り返り、まとめ ■家族交流 	

◆対象者▶ひきこもりに悩むご家族

第1回の公開講座は、一般市民、関係機関(医療、福祉、教育)等も参加可能です。

※ひきこもりとは、「様々な要因の結果として社会参加を回避し、原則的に6カ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態」とします。

◆申込み▶参加を希望される方は、電話にてお問い合わせ下さい。

相談・申し込み先:相双保健福祉事務所 障がい者支援チーム(南相馬市原町区錦町1-30)
電話▶0244-26-1133

相談

公証週間のお知らせ

10月1日から7日は「公証週間」です。

公証制度は、公証人が、大切な遺言・契約の公正証書の作成、確定日付の付与、定款や私文書などの認証や国の公証に関する事務を取り扱う制度です。公正証書に書かれている内容は、裁判その他の面で高い証拠力が与えられます。また、公正証書には「執行力」があり、金銭に関わる契約で相手が約束に反して金銭の支払いをしなかった場合、裁判抜きで相

手の財産に対し、強制執行ができます。

遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

問い合わせ先:いわき公証役場 電話▶0246-23-4066

オータムジャンボ宝くじ

◆発売期間◆

9月28日～10月16日

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成27年8月21日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅……………0.15~0.25
- ②福島市 さくら応急仮設住宅……………0.14~0.20
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅……………0.12~0.28
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅……………0.09~0.27
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅……………0.24~0.25
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅……………0.05~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅……………0.07~0.09
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅……………0.07~0.09
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅……………0.11~0.16
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所……………0.21
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎……………0.12
- ⑫白河市 県白河合同庁舎……………0.09
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎……………0.06



- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎……………0.05
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎……………0.10
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎……………0.07

双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 8月21日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.83
新山	新山公民館	—	0.56
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.52
新山	双葉南小学校	—	0.65
新山	双葉中学校	—	0.30
新山	県立双葉高等学校	—	0.81
新山	中央公園	—	0.71
下条	双葉総合公園	2.60	1.26
下条	双葉町役場	—	0.40
郡山	郡山公民館	1.48	0.69
細谷	細谷公民館	2.31	0.92
三字	三字公民館	2.53	1.19
山田	山田農村広場	24.47	9.08
石熊	石熊公民館	12.10	5.00
長塚	双葉町体育館	6.25	2.47
長塚	長塚二公民館	3.26	1.17

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 8月21日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.73
長塚	町西住宅	—	0.60
長塚	JAふたば北部営農センター	—	8.10
長塚	双葉北小学校	—	2.32
長塚	ふたば幼稚園	—	2.08
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.65
長塚	双葉町児童館	—	0.42
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.91
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.76
寺松	寺松公民館	3.46	1.65
渋川	渋川公民館	1.48	0.68
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	2.12
中田	中田公民館	0.77	0.38
両竹	両竹公民館	0.54	0.19
浜野	浜野公民館	0.34	0.16

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

この夏も各地で開催された盆踊りに参加させていただきました。曲が流れると自然と手足が動き出し、たくさんの方が輪になり盆踊りを楽しんでいました。普段は脚が痛いからと座っていることの多いおばあちゃんが、懐かしいメロディーに合わせてしっかりと踊っている姿を見ると盆踊りの不思議なパワーを感じることができます。

現在は、みなさん離れ離れの生活が続き、これまで双葉町にあった様々な伝統や歴史を受け継ぐことが困難となっています。季節は芸術の秋。これからも双葉の伝統や歴史に触れながら、多くの人にその良さを伝えていきたいです。
(ふたさぼ 山根光保子)

後世に残したい双葉町

双葉町には1年を通してたくさんのイベントがありますが、地元のみならず帰省してきた人達と一緒に集まり、きずなを確かめあうことができるのは盆踊りが一番ではないかと思います。会場で友人とぼったり会ってお酒を飲みに行くことも。その時はいつも昔話に花が咲きます。

地区盆踊りの実行委員長になってからは会員みんなで運営できるような体制づくりを行ったり、子どもたちに夏の思い出づくりや伝統継承をしてもらいたいと考え、太鼓や笛を演奏する機会づくりも行いました。

どんな形でもいいから双葉の盆踊りをこれからも続けていきたい。いろいろな人達の協力を得て継続していくことが大切だと思います。

